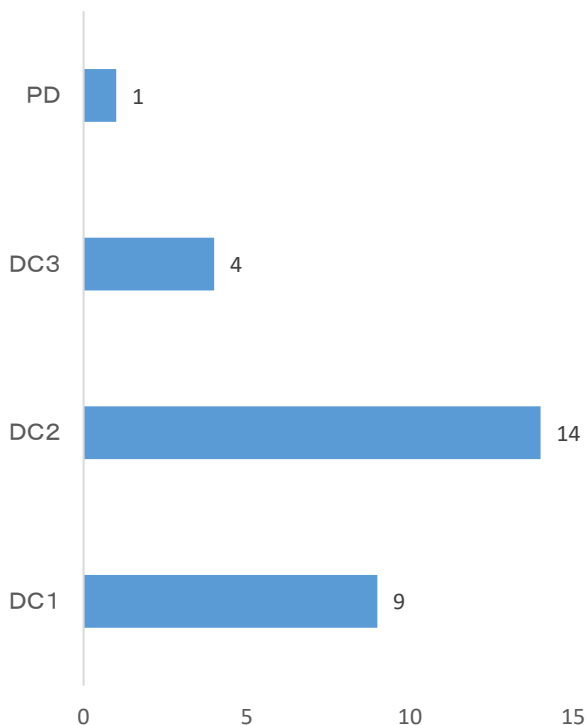


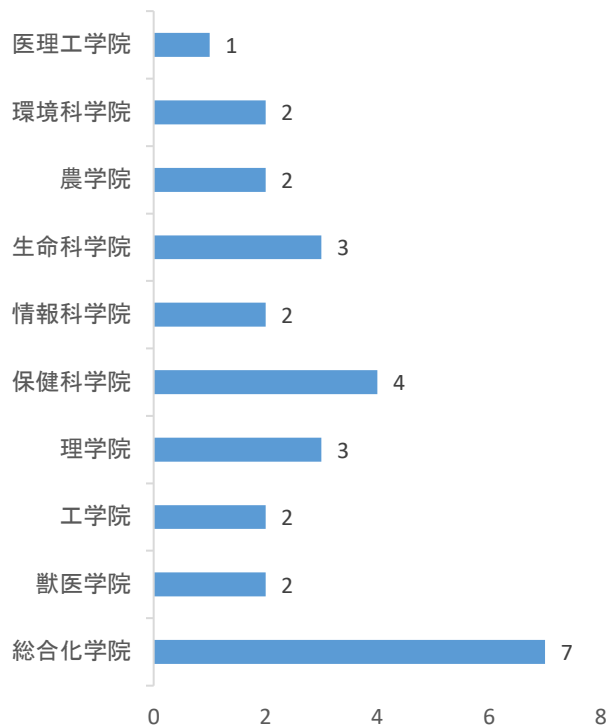
# 第53回（R5第2回）赤い糸会 アンケート

[1] 回答者：博士人材33名（※うち28名分掲載）  
企業24名（参加者：博士人材33名・企業17社）

## 博士人材学年

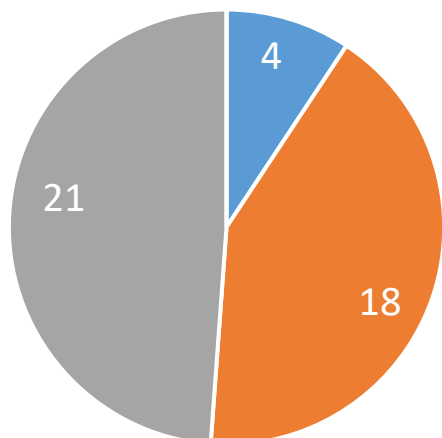


## 博士人材所属



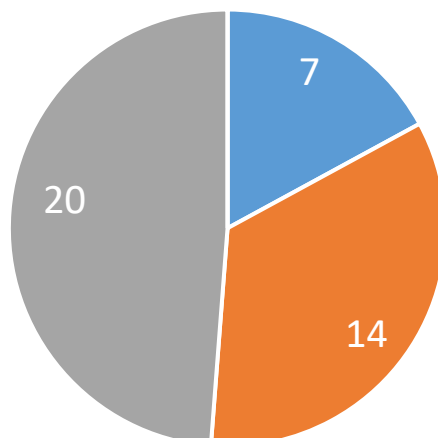
[2] 博士人材プレゼンテーション(複数回答可)

## アピールできた点(博士人材)



■ プレゼン技法  
■ 専門性  
■ 人物・個性・特徴  
■ ポスターのデザイン・レイアウト

## 注目する点(企業)

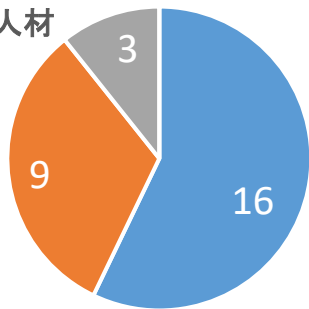


■ プレゼン技法  
■ 専門性  
■ 人物・個性・特徴  
■ ポスターのデザイン・レイアウト

### [3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

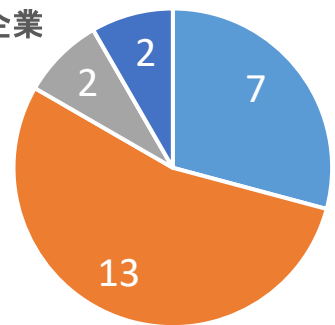
#### ■昼食会でのコンタクトについて

博士人材



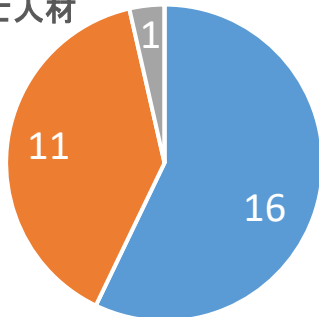
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

企業



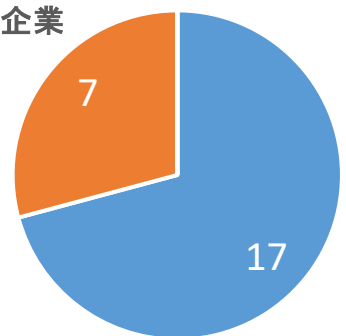
#### ■ポスター発表でのコンタクトについて

博士人材



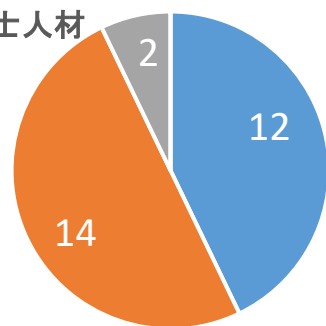
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

企業



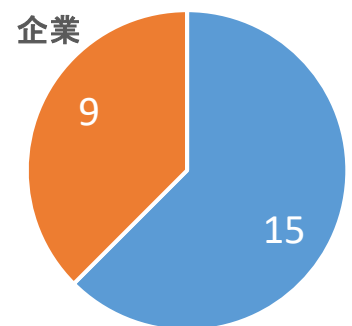
#### ■企業ブースでのコンタクトについて

博士人材



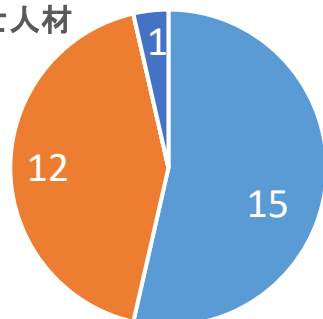
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

企業



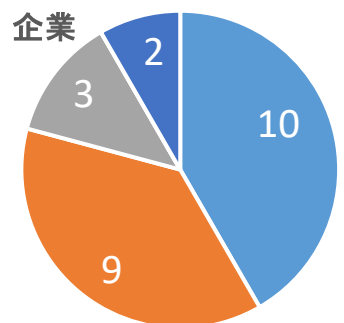
#### ■情報交換交流会（懇親会）でのコンタクトについて

博士人材



- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

企業



#### ■プログラム全体のコンタクトについての感想（抜粋）

博士人材

お話しをしたい企業の方と十分なくらい交流ができ、貴重な経験となりました。

初めて企業の人と直接話したので、何を話せばいいかわからなかったが、何となく雰囲気を感じる事ができた。

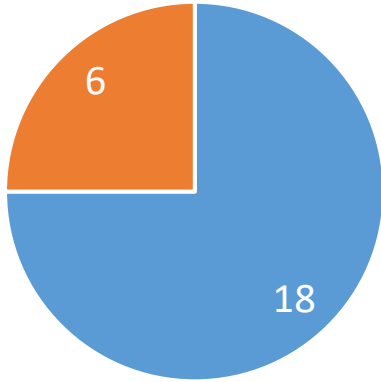
企業ブースに伺う際、話を伺いたいところが常に埋まっていたので伺えなかった企業様があったのが少し残念でしたが、全体的に色々な話を伺えてとても有意義でした。

興味を持っていた企業とはほぼコンタクトをできたので、全体的に満足をしている。

昼食会、企業ブースでは席数が決まっているためコンタクトを取れなかった企業も出てしまった。

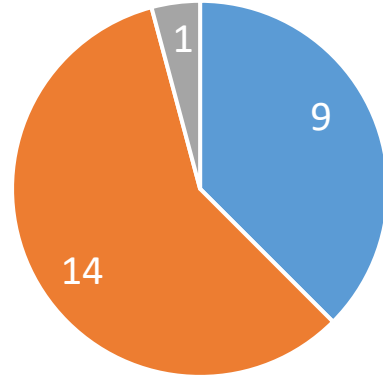
## [4] 企業のみ

### 参加博士人材について



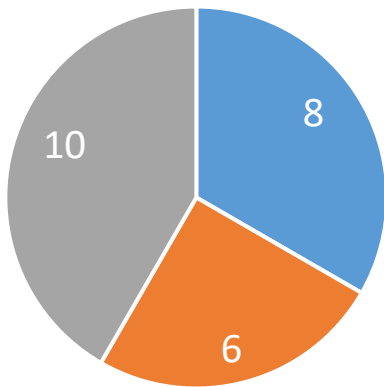
- 1. 欲しい分野の博士人材に会えた
- 2. 意外な分野の博士人材に出会えた

### 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください



- 1. 採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた
- 3. コンタクトを取りたい博士人材はいない

### DC・PDのインターンシップ(1ヵ月位)について

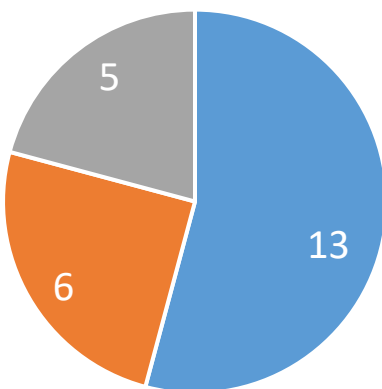


- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方：  
差し支えなければ、理由をお教えてください。

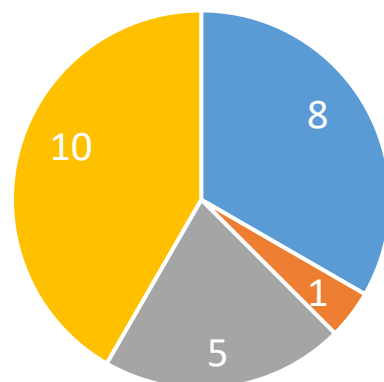
現在、業務量に対して人員が少なく、学生を指導する余裕がない。
1週間インターンシップが期間として限界のため。
個別対応が必要となるため。
現場の調整と理解に少々時間が必要なため
期間は2週間前後を希望
1ヵ月程度のインターンシップは行っていませんが、5日程度～2週間のものは開催しておりますので、博士課程の学生様にもぜひいらしていただきたいです。
※最終年次およびPDの受入は難しい

### DC採用について



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 時期に関わらず、採用したい
- 3. 採用については未定

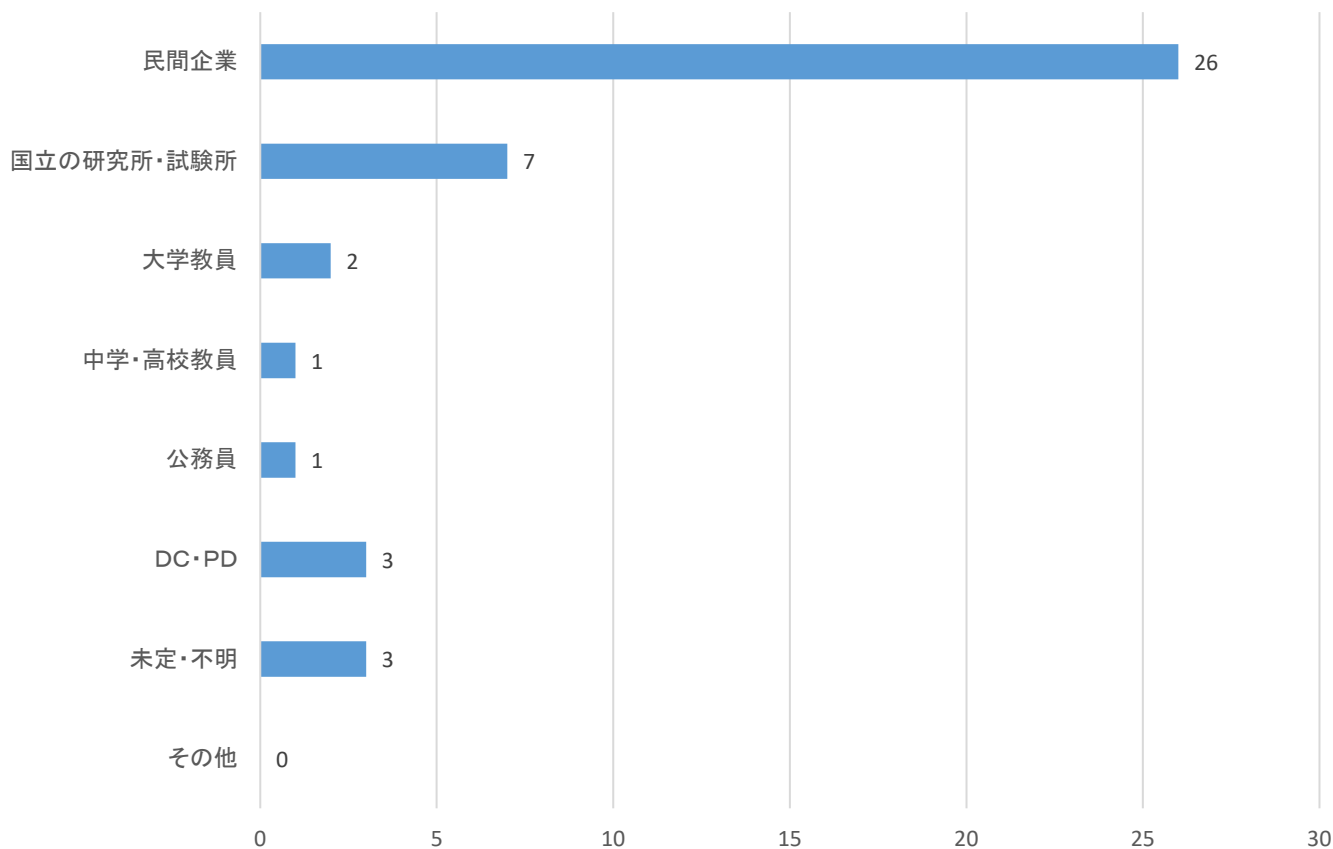
### Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)の利用について



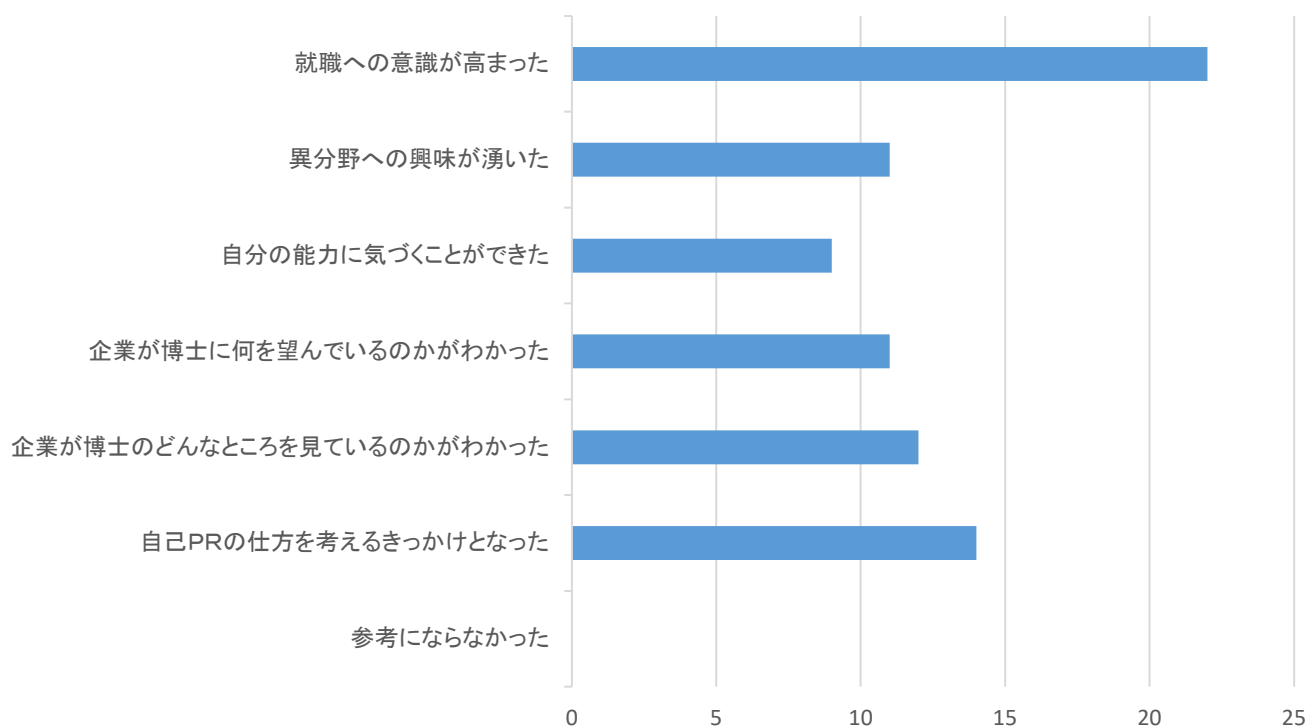
- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 博士人材検索
- 4. 利用していない

## [5] 博士人材のみ

あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）



「赤い糸会」は、進路決定の参考になりましたか？（複数回答可）

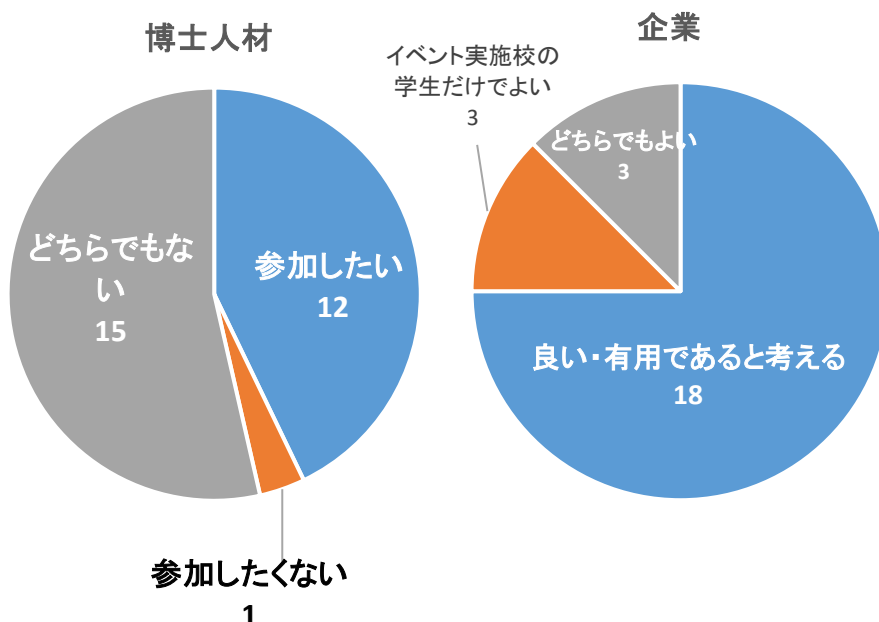


[6] 「赤い糸会」に参加して新たな気づきはありましたか。  
それはどのようなことですか。（博士人材のみ）

1	企業は多分野に興味を持つ人材を求めていること
2	数学科の学生が多くの企業に注目されているという点。
3	自分の研究が企業のニーズに合致しにくいこと
4	企業の研究職でも、行うこと自体に大きな差はないのかなと思った。
5	まだまだ分野を絞らずに就活をしていたつもりでしたが、実際に異分野の企業様と関わって、自身が無意識のうちに業界を選択していたことに気が付かされました。また、企業の方とのお話しし、自発的に判断・行動することの重要さも改めて痛感させられました。
6	自信を持って自己PRできるように、もっと研究を頑張ろうと思った
7	当然ではあるが、企業によって博士に求めることで何を重視しているのかに違いがあることを知れた。その中でも共通する部分はあり、博士課程で何を身に付けるべきか参考になった。畑違いと思っていた企業でも製品にはなっていないが研究を行っていることもあり、意外と現在の専門と被ることがあるということを知れた。
8	私の知識や技能は、思っていたよりも多くの分野の企業に活かすことができることに気づいた。
9	インターンシップに参加できなくても、様々な企業の方と会話することでマッチ、ミスマッチをある程度知ることが出来ました。
10	ネットで調べても、自分がやりたいことをやっている企業がどこかあまり分らなかったのですが、今回直接話を伺って、予想していなかった企業がやりたい方向性の研究をやっていることを知れたのが非常にありがたかったです。
11	違う専門を持った人がたくさんいるんだなと感じた
12	全然分野の違う人に上手く研究能力を説明することはかなり難しいと感じた。博士課程から本当に全く分野が違う領域に研究職として就職することは難しい、と聞いていたが今回それを身をもって体感した。自分の「能力」について、どれだけ正確に言語化できるかが大事であると分かった。また、自分は結構抽象的に物事を説明したり、人に質問したりしがちなので、自分の考えや話す内容を適切に言語化する訓練が必要かもしれないと思った。
13	企業によって、単純な研究分野以外の面でもどのような博士学生を求めているかが異なり、企業を選ぶ際には考え方や志向性がどの程度マッチングするかを考慮することが重要だと考えた。
14	人事と直接話しができるのが、とても貴重な経験であるということ
15	参加すればするほど客観視されている事を強く意識できる。
16	自分の専門分野以外にも進路の可能性があるということ。
17	自身の興味を持っている分野に絞って就職活動をしているが、分野が異なっても自身のスキルを活かしてシミュレーション等を行う仕事も多くあることを学ぶことができました。

18	博士課程の学生のためこのようなチャンスあるのが知りませんでした。日本の会社で働いていても研究を続けられるのは本当に嬉しいです。
19	自身の分野と直結する研究を行っているところは、逆に同分野の社員を多く抱えておりあまり求めているという意見を伺えたのは学びになった。
20	企業が求める能力と自分の持っている能力のマッチングが重要であることは理解していましたが、それと同等に企業と自身のマインドの整合性が重要だと感じました。
21	企業の仕事内容を理解しました
22	今まで、化学系の企業にESを出してきたが、今回の発表において、自分の勉強が化学の企業にそれほど興味がないことを気づき、他の業界の方を調べるきっかけになったと思います。
23	博士研究の大切さを改めて感じました。
24	専門性を伝えることに加えて、その専門性を会社でどのように活かせるのかというところを考えられないといけないと思った。
25	自分が活躍できるフィールドは限られていると思っていたが、直接自身の専攻と関係なくても、今まで培ってきた思考力や研究に対する姿勢が社会に活かされると気がついた。
26	対面の就活は、オンラインとはまた違った工夫が必要になると強く感じた。また、修士学生の就活とは異なり、企業の求める分野でなければ一切興味を示されないと実感でき、心の強さがより必要だと感じた
27	企業によって方針等に違いがあることに気づいた。
28	情報交換会後に食事が余っていることに対して誰も気に留めていなかったことから、SDGsなどといった企業や学生も、個人では行動が伴っておらず、結局個人レベルではみな建前なのかと思い、非常に悲しかったです。

**[7] 東北大学・名古屋大学・北海道大学におけるコンソーシアム（全13大学）の取組みで、本会のような各大学マッチングイベントに連携大学の学生が参加していることについて**



コンソーシアム(全13大学)の取組みについてご意見がございましたらお聞かせください。

他の大学も参加されると一層よいかと思えます。

積極的に進めていただきたい。全国の大学が、3ブロック程度に収まると企業としてはありがたい。

様々な大学の学生さんに会えるのは素晴らしいことだと思います

コンソ合同のイベントの色と大学ごと個別イベントの色が異なるので楽しい。

## [8] 今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

1	社会実装を意識しているか
2	研究スキルの高い方が多いので、イノベーションの担い手として期待しております。
3	課題設定力とその対策立案、実行力
4	現在、特になし。色々個性があって良い。
5	いろいろな企業に興味を持って欲しい、意外な出会いを期待します
6	自分の専門にこだわらず、活躍するという意気込み。社内外とのコミュニケーション。
7	専門力をきわめ、博士人材としてのプライドを矜持すること。分野・領域を自ら開拓する力。
8	ご自身の専門技術や知見はもちろん、博士課程で身につけた課題解決のプロとしての強みもさらに磨かれることを期待いたします。
9	自分の現在の研究分野にこだわらず、専門性というものをより幅広く捉えること
10	名刺交換をやってみてビジネスマナーが不十分な学生が多かったです。
11	是非積極的に、ご自身の良さを発信されてください。消極的な学生さんが多かった印象を持ちました。
12	専門性を高め自信を付け、就活に臨んでほしい。
13	高度な専門性はもちろんのこと、自身の専門に直結しなさそうな幅広い業種への興味を持っていただけるとよりよいと思います。
14	専門性の更なる深耕。分野外での活躍可能性の認識。
15	是非キャリア選択の中で教育に目を向けていただきたいと思います
16	プレゼンで、研究内容に加えて、企業で何をしたいかを説明してほしい
17	自身の専門分野のみに捉われず、スキルや経験を幅広い分野に活用することを期待します。
18	博士ならではの専門性を極め、論文・プレゼンテーション等の成果物を残した経験を重視しております。またそれらの強みを生かして企業のイノベーション人材としてご活躍いただくことを期待しております。
19	意欲と発想力のある学生を求める
20	自分のアイデアを持って主体的に研究を遂行することを期待します。また、どんどん周りの人を巻き込んで、新製品の開発に貢献することを望んでいます。
21	実社会に専門性を活かす強い意欲があること
22	高い専門性とリーダーシップ
23	いざ就職という段階でがんばって視野を広げるのではなく、修士の段階からほんの少しでもイメージを持ってもらいたい。



## [9] 全体を通して、「赤い糸会」（赤い糸ONLINE）についての意見、要望など

### 博士人材

1	ポスター発表の際、会場が広いことか一度もお目にかからなかった企業があった
2	この先も学生のキャリアをご支援いただけるように、赤い糸会を引き続き開催して欲しいと思います。
3	実りの多い就活体験でした。特に要望はありません。今後もずっとこの会があれば多くの博士学生が助けられると思います。本当にありがとうございました。
4	今自分に足りないところやこれから頑張らなければならないところが見つかったので、とても良い機会になった。
5	過去に開催された赤い糸会のアンケートでは休憩がなく疲れるという意見が多くあったが、企業ショートトークの間にも休憩があり思っていたほど疲れず、むしろちょうど良かった。初参加で勝手がわからないこともあり不安になりながらの参加だった。そのため会場移動時の手荷物などの細かな部分の指示も適切に行っていた良かった。
6	企業の方が見に行きたいポスターがあればあらかじめ教えて欲しいと思いました。
7	対面だったので、企業様の都合もおありと存じますが、バイオ系の企業様がもう少し参加されているとありがたいなと思いました。有意義な会をありがとうございました。
8	とても良かった
9	大変趣向を凝らしていて、学生、企業を効率的にマッチングさせようという意図が見える素晴らしいプログラムであると感じた。
10	参加して、企業に対する理解や企業に対するアピールの方針が見えました。
11	すべて対面でやるべき
12	最後の企業紹介ページにページ番号が欲しかったです。
13	対面ではオンラインよりも相手の雰囲気をつかみやすく、また話しやすく、とても有意義な時間となりました。
14	さまざまな分野の企業の方と交流することができ、自身の視野が広がる大変貴重な体験になりました。プレゼンテーション演習や面談もしていただき、自己アピールの方法についてもたくさん学ぶことができました。
15	初めてこういうイベントに参加しましたが予想よりも大きなイベントでした。参加させて頂きありがとうございました。今まで日本の会社のこと少しだけ知っていましたが、このイベントのおかげで様々な情報が知りました。
16	全体を通してはとても学びが多く、実りが多かったの思う。要望としては、ポスターセッションの時間をもう少し延ばしていただきたいと感じた。これは企業様の方からも同じ意見が出ていた。
17	交流前にS-cubicからのメッセージを受け取りましたが、メールアドレスが記載されておらず返信ができませんでした。メッセージをいただいた企業の方にこの旨伝えましたが、そのことを把握していなかったようでしたので、その点が明確に共有されていれば嬉しく思いました。



18	最後の懇親会において時間を分け、席を移動する時間が定められた方がさらに多い企業とお会いすることができるのではないかと思います。
19	今後の進路を考え直す良い機会になりました。製薬会社についても直接対面でお話できる機会があればうれしいです。
20	忙しかったけれど、とてもよくオーガナイズされていたため、希望していた企業とはおおむね話すことができた。また、意外とどの企業の方もこちらの話に関心を持って聞いてくれたのが意外であった。
21	ホテル開催が少し緊張しました。
22	赤い糸会や様々なセミナーを開いてくださり、大変感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。
23	第52回の方も現地にしてほしいなと思った。 やはり現地とオンラインではコミュニケーションの取り方が違うと感じた。
24	現地開催、および、情報交換会が行われたのが久しぶりだからとはいえ、料理が大量に残っているのが何よりも気になりました。非常にもったいないと思いました。今回参加者は1000円しか払っていませんが、不足分の予算はどこから出ているのでしょうか。北大でも多くの場所で予算不足に苦労しているのに、このような差が生じていることに違和感を感じました。何よりも、それをもったいないと思う人が会場にほとんどいなかったこともまた、非常に残念でした。企業の取り組みや研究の貢献領域としてSDGsなどを掲げていることも多いですが、個人レベルでは、大量の料理が残ることさえ気に留めないことに対し、とてもむなしくなりました。 また、企業の担当者が発表を聞きたいと思う学生も、学生が企業への発表に求めるものもそれぞれ大きく異なるのにポスター発表を評価するのは意味がないと思いました。少なくとも、評価をするなら、評価法をもう少し工夫する必要があると思いました。企業からのノベルティも一部の人に配るよりも、企業と互いに興味のある学生に配るほうが両者にとって意味があると思いました。

## 企業

1	対面での開催を今後も継続してもらいたい、開催時期は10月が好ましい
2	毎回、レベルの高い学生に出会えて有益です。大学の雰囲気も採用担当者が感じたく、北海道大学の施設での会を希望します。
3	いつも大変お世話になっております。引き続き文理問わず多くの出会いがあることを願っております。
4	オンサイトの実施の継続をお願いします
5	情報交換交流会(懇親会)の前半では学生があまり来ず、あまり交流ができなかったのが残念でした。学生が複数の企業をまわるなどの仕組みがあると、色々な学生とさらに交流が図れると感じました。
6	今年度も誠にありがとうございました。
7	3年にして初めて対面で参加できました。事前準備と比例して学生との交流が図れたと思います。持続的な関係構築をよろしくお願いします。
8	たくさんの博士人材と交流することができた。今後も是非参加させていただきたい。
9	参加学生のレベルも粒揃いで全体として満足しております。
10	ポスター発表や企業ブースで多くの学生と1対1で会話する時間が豊富にあり、学生の研究内容や人柄について知ることができるため、とても有意義なイベントだと思います。優秀な学生が多く、研究姿勢など自分自身も学びが多くありました。ぜひ来年以降も参加を検討したいと考えています。

11	今回も優秀な学生とコンタクトを取ることができました。
12	他フォーラムにも参加させていただきましたが、赤い系会の学生さんは全体的にレベルが高く実りのある機会となりました。貴重なお時間をありがとうございました。
13	ポスターセッションやブースセッションに多く時間が割かれており、学生と十分に交流することができて非常に有意義である。
14	なかなか出会えない博士人財を発掘できる場だと感じました
15	久々の飲食あり情報交換会復活で学生さんとお話しできたことは非常に嬉しかったです
16	対面セミナーの中でも非常に満足度が高く、学生の数・企業の数も適切であると感じました。
17	毎年のことですがスムーズな運営で安心して参加できました。 強いて言えば、情報交換交流会の会費額の案内がもう少し早いとありがたかったです。
18	弊方が学生として参加した2019年と、参加企業の顔触れが全く変わってないと感じました。 学生さんの選択肢が増えて欲しいと思います。
19	オープニングで投票集計をリアルタイムで公開する方法は、私が参加した以前とは違って良かったです。
20	思わぬ分野の学生が弊社に興味を抱いてくださり大変意義深い会でした。
21	毎回有意義な場を設けていただきありがとうございます。
22	多くの優秀な学生とマッチングできるイベントは大変有意義な会だと考えております。 参加させていただきありがとうございました。
23	良い会と思っています。やはり、対面が良いと思いました。
24	今後も博士人材との交流会を対面で実施していただきたいです。

## [10] J-window（先端人材育成センター担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習）の利用について

